

1 小学部教育計画

これからの学校生活の基礎となる事柄を学習していく大切な段階と捉え、身近な人たちとの関わりの中で生活経験を広げ、日常生活に必要な生活習慣の習得を図るとともに、意欲的な生活態度を育成することを目指している。そのために、一人一人の教育的ニーズを的確に捉えた個々の実態に即した個別の指導計画を作成し、個に応じた適切な教育的支援を教育活動全般において行う。

1. 学部教育目標(目指す児童像)

(1) いろいろな運動に取り組み、健康な体づくりをする児童(健康)
ア 身体を動かすことの楽しさを知り、運動に毎日取り組み体力の保持、増進に努める。 イ 周回や距離などの目標を意識して走ったり歩いたりすることができる。 ウ 歯磨きや手洗い・うがいなど基本的な生活習慣を身に付け、健康な身体をつくる。 エ 自分の体の不調を自分なりに伝えたり、体温測定や健康診断を落ち着いて受けたりする。
(2) 身の回りの基本的な動作や生活習慣を身に付け、自分から活動に取り組む児童(自立)
ア 基本的な生活習慣を身につける。 イ あいさつや返事を覚えて、周囲の人とコミュニケーションを図ろうとする。 ウ 集団生活の中で約束やルールを意識して、友達と一緒に活動できる。 エ 自分と他の区別ができ、持ち物の整理ができる。
(3) 活動内容を理解し、自分から進んで学習に取り組む児童(学習)
ア 学ぶことに興味を持ち、決められた時間、落ち着いて座って学習に取り組もうとする。 イ 日常生活に必要な言語や数量に興味を持ち、学習に取り組もうとする。 ウ 課題を理解し、継続的に進んで取り組もうとする。
(4) 教師や友達と一緒に、役割活動に取り組み、協力して生活しようとする児童(勤勉)
ア 掃除の仕方や係の仕事などを覚え最後まで取り組もうとする。 イ 教師や友達と一緒に協力して生活しようとする。 ウ 自分の意思を伝えたり、選んだりして活動に取り組む。

2. 今年度の重点努力事項

- (1) 個別の教育支援計画及び個別の指導計画を基にして、一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行う。(自立活動の個別の指導計画を作成し、指導の充実を図る。)
- (2) 多様な障害に応じた指導のあり方を探り、充実させる。
 - ・ 一人一人の課題に応じた個別学習の充実を図る。
(自立活動や国語・算数を中心として)
 - ・ 集団の学習において、関わりを広げるための効果的な学習指導のあり方を探る。
(生活単元学習・遊びの指導・音楽・体育などを中心として)
 - ・ 学校生活に適応できるように各児童について合理的配慮に基づいた支援を行う。
- (3) 児童個々の実態を的確に把握し、実態に合った環境整備や支援を工夫し、安心安全な学校作りの推進に努める。
- (4) 学部内の研修会等を計画的に設定し、教師の指導力の向上に努める。
(事例研究、各研修会の伝講、外部機関と連携した研修会、教材開発研修など)
- (5) 学校評価や学部・学級の懇談会などで出された保護者の意見や要望を学部で検討し、家庭と連携をとりながら教育活動を行うように努める。
- (6) 児童の安全と心身の健やかな発達を促すように努める。
- (7) 摂食指導に力を入れ、より良い食習慣が身に付くように努める。